資料２－４

第２回医療・病床懇話会の概要（大阪市二次医療圏）

**１ 将来のあるべき姿の到達度を測定する指標（案）・病床機能分化の方向性等について**

〇将来のあるべき姿の到達度を測定する指標として、「将来にむけて回復期への転換が必要な病床」を設定し、今後、地域医療構想の進捗状況をモニタリングしていくことについて、認識の共有を図った。

〇病床機能報告の診療実態分析について、より診療実態にあったものへの見直しを検討してほしい。

**２ 病院の将来プラン等※について**

1. **保健医療協議会においてプラン等の内容について説明を希望する病院**

　　　　●医誠会病院（東淀川区）

（理由：医療法上過剰となっている「高度急性期」機能に、現在「急性期」機能である297床すべての病床を転換する予定であるため）

●城東中央病院（城東区）

（理由：医療法上過剰となっている「高度急性期」機能に、現在「急性期（115床）」、「回復期（27床）」、「慢性期（91床）」機能を担っている病床をすべて転換する予定であるため）

1. **その他、病院のプラン等に対する意見・質問等**

　　　　　特になし

**※公的医療機関等2025プラン、新公立病院改革プランにかかる補足調査、将来に向けた病院のプランに関する調査**